

# 109事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅰ

自律力

基本目標：子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
1 こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第2期計画」を着実に推進します。(こども政策課)</li> <li>◆市立菊田保育所を私立化した民間認可保育所の開園(平成28年4月)を支援します。(こども政策課・こども保育課)</li> <li>◆平成29年4月に市立実花幼稚園・つくし幼稚園を幼保園として私立化するため、移管先法人を決定します。(こども政策課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆習志野市立幼稚園私立化ガイドラインを7月に改定し、市立実花・つくし幼稚園移管先法人の募集を行い、移管先の法人を決定しました。(こども政策課)</li> <li>◆市立菊田保育所の私立化における円滑な引継のため、三者協議会を9回開催し、私立化に伴う諸事項を協議しました。また、市立菊田保育所において移管先法人職員と共同保育を実施し、市立菊田保育所の保育を継承できるよう支援しました。(こども政策課・こども保育課)(こども政策課)</li> <li>◆市立菊田保育所の私立化対象施設である谷津みのり保育園の整備に係る費用の一部を補助しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆三者協議会、共同保育を実施し、市立菊田保育所を法人へ円滑に移管することができました。(こども政策課・こども保育課)</li> <li>◆幼稚園私立化ガイドラインを改定し、ガイドラインに基づき法人を選考したことにより、優良な市立実花・つくし幼稚園移管先法人を選定することが出来ました。(こども政策課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第2期計画」を着実に推進します。(こども政策課)</li> <li>◆平成29年4月に向け、市立実花幼稚園及びつくし幼稚園が私立こども園として開園できるよう、円滑法人への移管ができるよう努めます。(こども政策課)</li> <li>◆私立保育園が安心安全な保育を提供し、安定した保育園運営ができるよう、職員が専属で支援します。(こども保育課)</li> <li>◆私立保育園に定期的に訪問し、運営状況や保育の内容を把握し、保育の充実が図れるよう必要に応じて助言、支援します。(こども保育課)</li> </ul>	こども政策課・こども保育課
2 教育・保育施設、小規模保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆認可外保育施設の小規模保育事業への移行を支援します。(こども政策課)</li> <li>◆認可外保育施設の利用者に対する助成を継続して行います。(こども保育課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小規模保育事業への整備を支援するため、保育従事者の研修を実施し、19名受講しました。(こども政策課)</li> <li>◆認可外保育施設利用者に対する助成を実施しました。(こども保育課) ※助成対象者:515人、助成額:125,766,700円</li> <li>◆本計画に先だて、認可外保育施設3施設を小規模保育事業所へ移行し、平成27年10月に開所しました。(こども政策課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆認可外保育施設が小規模保育事業所へ移行したことにより、認可施設の保育の受け皿が計55人増加しました。また、認可保育所と同等の保育料となり、保護者の負担が軽減できました。認可及び運営基準を遵守することで、保育の質の確保及び向上が図られました。(こども政策課)</li> <li>◆小規模保育事業所移行施設だけでなく、他の認可外保育施設の従事者に対しても、保育従事者研修を実施したことにより、職員の質の向上の一助となりました。(こども政策課)</li> <li>◆当該助成金は、利用者の認可保育所の保育料と認可外保育施設の利用料との差額(月4万円限度)を助成しているため、認可外保育施設利用者の経済的負担を軽減するとともに、児童福祉の増進に寄与しています。(こども保育課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童数及び保育需要の状況に応じて、小規模保育事業所を公募により整備し、待機児童の解消に努めます。併せて、3歳児の受け皿の確保にも取り組みます。(こども政策課)</li> <li>◆小規模保育事業所の監査体制の整備を行い、適正な運営が図られるよう監査を実施します。(こども政策課)</li> <li>◆民間認可保育所等を整備する際、一時保育等をはじめとする多様な保育サービスの充実を図れるよう支援します。(こども政策課)</li> <li>◆認可外保育施設利用者への助成については、市内だけでなく市外の施設利用者に対しても助成を検討していきます。(こども保育課)</li> </ul>	こども政策課・こども保育課
3 民間保育事業者の多様なサービス力の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育受け入れ枠拡大のために、平成27年10月以降の開園を目指す、民間認可保育所(1か所)の整備を支援します。(こども政策課)</li> <li>◆市立菊田保育所を私立化した民間認可保育所の開園(平成28年4月)を支援します。(こども政策課・こども保育課)</li> <li>◆市立実花・つくし幼稚園の移管先法人を決定します。(こども政策課)</li> <li>◆平成29年10月開園を目指す、津田沼2丁目国有地を活用した民間認可保育所の設置運営事業者を決定します。(こども政策課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆民間認可保育所(1か所)の平成27年10月開園にあたり、保育内容の助言等を実施しました。(こども保育課)</li> <li>◆平成27年10月開園の民間認可保育所(1か所)の整備を支援しました。(こども政策課)</li> <li>◆市立菊田保育所の私立化における円滑な引継ぎのため、三者協議会を9回開催し、私立化に伴う諸事項を協議しました。(こども政策課)</li> <li>◆市立実花・つくし幼稚園移管先法人を決定しました。(こども政策課)</li> <li>◆津田沼2丁目国有地を活用した民間認可保育所設置運営事業者を決定しました。(こども政策課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成27年度中は、認可保育所2施設が新たに開設となり、計240名の保育の受け皿を確保しました。(こども政策課)</li> <li>◆三者協議会、共同保育を実施し、市立菊田保育所を法人へ円滑に移管することが出来ました。(こども政策課)</li> <li>◆平成27年10月開園の認可保育所に対し、保育内容等に対する助言を指導主事を中心に実施しました。(こども保育課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆(仮称)津田沼保育園(津田沼2丁目国有地活用民間認可保育所)について、平成28年10月開園できるよう支援します。(こども政策課)</li> <li>◆平成29年4月を目途に、認可外保育施設から認可保育所への移行を支援します。(こども政策課)</li> <li>◆市立実花・つくし幼稚園の私立化施設の平成29年4月開園に向け、スムーズな移行ができるよう支援します。(こども政策課)</li> <li>◆市立実花・つくし幼稚園のこども園化に際し、保育内容の助言等を行います。(こども保育課)</li> </ul>	こども政策課・こども保育課
4 放課後児童会の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆入会を希望する児童の内、小学1～3年生及び障害のある児童については6年生までを全て受け入れます。また、小学4～6年生の入会を希望する児童につきましては、定員内に限り、受け入れてまいります。</li> <li>◆受入対象児童の拡大に対し、習志野市子ども・子育て支援事業計画に基づく施設整備と、職員の配置に取り組みます。</li> <li>◆秋津児童会を分割します。</li> <li>◆職員の研修を引き続き実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小学1～3年生及び特別な支援を要する児童については、全入制を維持することができました。小学4～6年生の学年は、施設未整備や支援員不足により、最大29名の不承諾児童が発生しました。</li> <li>◆計画に基づき、東習志野小、実籾小、秋津小の施設整備を実施しました。また、支援員の配置につきましては、国基準を満たす配置はできているものの、安全安心な児童会を運営するため、引き続き、放課後児童職員の雇用確保に努めてまいります。</li> <li>◆秋津児童会の分割については、児童数等を鑑み、分割ではなく、余裕教室の活用による環境整備として取り組みました。</li> <li>◆年間約20回の支援員研修を実施いたしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆受入児童の拡大に対し、大きな事故やトラブルもなく、小学1～3年生並びに特別な支援を要する児童の全入制を維持の上、前年度比117%増(H27:11,571人、H26:9,852人、H25:9,224人)の児童を受入れ、安全安心な運営を継続することができました。</li> <li>◆秋津・東習志野・実籾小学校の余裕教室を整備し、各児童会の定員を拡大することができました。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆増加傾向にある小学1～3年生並びに特別な支援を要する児童の全入制を維持した上、放課後児童職員の雇用確保及び施設整備に努め、安全安心な児童会運営を継続する中で、待機児童の解消に努めます。</li> </ul>	青少年課
5 休日保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育士の確保や施設機能の強化について民間保育事業者との調整を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆私立かすみ保育園において実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆かすみ保育園で実施(平成27年度 年間利用者13人)利用希望者すべての受入を実施しました。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆かすみ保育園における休日保育の継続実施と実施施設拡大の検討を行います。</li> </ul>	こども保育課

# 109事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点 I

自律力

基本目標：子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
6 乳幼児教育の向上(保育一元カリキュラム)	<p>◆平成18年度、習志野市の子ども達が健全に成長できることを最大の目的として策定された「習志野市就学前保育一元カリキュラム」を基本として、幼稚園・保育所・こども園が子どもや保護者の状況、地域性を踏まえた独自性のある計画を立案し、保育を実施することで乳幼児教育の向上を図ります。</p> <p>◆私立保育園にも「習志野市就学前保育一元カリキュラム」を参考にした保育の計画、実施を促していきます。</p>	<p>◆「習志野市就学前保育一元カリキュラム」の見直しを3年毎に実施します。今年度は改訂の年度にあたり、内容の検討をしました。</p> <p>◆私立保育園(7園)小規模保育事業(3園)について「習志野市就学前保育一元カリキュラム」を参考に計画立案、保育の実施を行うよう内容説明をしました。</p>	<p>◆今回の習志野市就学前保育一元カリキュラムの見直しでは、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成26年告示)を見直しの観点のひとつとして行いました。保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園要領を含めた内容としたことから、保育所、幼稚園、こども園など子どもの置かれた環境にかかわらず、習志野市の子どもの教育・保育の基本となる内容とすることができました。</p>	B	<p>◆平成18年度、習志野市の子ども達が健全に成長できることを最大の目的として策定し、27年度改定した「習志野市就学前保育一元カリキュラム」を基本として、幼稚園・保育所・こども園が子どもや保護者の状況、地域性を踏まえた独自性のある計画を立案し、保育を実施することで乳幼児教育の向上を図ります。</p> <p>◆私立保育園・小規模事業所(保育園)にも「習志野市就学前保育一元カリキュラム」を参考にした保育の計画、実施を促していきます。</p>	こども保育課
7 開かれた学校づくりの推進	<p>◆今後も評議員制度を継続し、市内各小中高等学校で意見を伺いながら教育目標の具現化を図れるように推進していきます。(指導課・小学校・中学校)</p> <p>◆秋津小学校ではコミュニティスクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・秋津小学校)</p> <p>◆外部の方々のご意見を吸収し、より良い学校経営に結びつけるため、内容のある協議会を実践します。(習志野高等学校)</p>	<p>◆学期ごとに各学校において学校評議員会を開き、様々な情報交換や要望、評価などについて話し合いました。(指導課・小学校・中学校)</p> <p>◆コミュニティスクールとして学校運営協議会を開催し、学校運営や地域との連携を深めました。(指導課・秋津小学校)</p> <p>◆学校評議員会を実施し、外部の方々のご意見をいただきました。(習志野高等学校)</p> <p>◆学校評議員会を通じて学校評価を充実させ、学校教育に生かしました。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校)</p>	<p>◆学校評議員会や学校運営協議会を開催することで、学校運営や教育活動の見直し及び改善を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することができました。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校)</p> <p>◆学校の考え方を理解していただくことにつながるとともに、地域の方々の評価を知り、応援していただいていることを再確認することができました。(習志野高校)</p>	B	<p>◆今後も学校評議員制度を継続し、市内各小中高等学校で意見を伺いながら教育目標の具現化を図れるように推進していきます。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校)</p> <p>◆秋津小学校ではコミュニティスクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・秋津小学校)</p> <p>◆「県内1000か所ミニ集会」をすべての小・中・高等学校で実施し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校)</p> <p>◆昨年度の実績を踏まえ、改善点を再評価していただけるように工夫し、PDCAサイクルを確立させます。(習志野高校)</p>	指導課・小学校・中学校・習志野高等学校
8 個に応じた多様な指導の充実	<p>◆各学校で、より効果的な少人数指導及びチームティーチング指導を実施し、その成果と課題を明らかにします。(指導課)</p> <p>◆より多くの学校訪問等を行い、授業実践の記録を残し、より具体的に個に応じた指導方法・学習形態のあり方、指導と評価の一体化等に関して研究・協議を継続します。(指導課・総合教育センター)</p>	<p>◆各学校でより効果的な少人数指導、TT指導等の教育計画を確認し、数校の授業研究会の中で、TT、少人数指導のより効果的な指導について協議し、各校において成果と課題をまとめました。(指導課)</p> <p>◆4月～10月にかけて学校訪問等を通して、全教科指導の中で、個に応じた指導のあり方を実態に応じて指導しました。(指導課)</p> <p>◆若年層研修等を中心に、子ども一人ひとりに寄り添う研修を企画・実施し、教員個々の指導法を高めることができました。(総合教育センター)</p> <p>◆市学力調査の結果から課題を探り、授業改善のための提案授業を行いました。また、それらの取り組みをDVDや提言として各校に配付することで、課題に対する迫り方や問題解決的な学習の具体例を示すことができました。(総合教育センター、指導課)</p>	<p>◆TTでの指導では、授業中に2人の役割を明確にすることや互いの情報を共有する場面が大切であることが再認識できました。また、必要に応じて臨機応変に対応することによって、児童・生徒の学力向上、特に基礎・基本の習得や思考力・判断力・表現力の育成に役立てることができました。(指導課)</p>	B	<p>◆各学校で、より効果的な少人数指導及びチームティーチング指導を実施し、その成果と課題を明らかにしていきます。(指導課)</p> <p>◆より多くの学校訪問等を行い、指導実践の記録を残すとともに、より具体的な個に応じた指導方法や学習形態のあり方、指導と評価の一体化に関して、研究・協議を継続的に行っていきます。(指導課)</p> <p>◆国・市学力調査の結果をもとに課題を探り、授業改善のための提案授業を行います。また、それらの取り組みを広げるためにDVDや提言としてまとめ、各校に発信することで、指導力の向上を目指します。(指導課)</p>	指導課・総合教育センター
9 幼稚園・保育所・こども園・小学校関連研修会の推進	<p>◆幼稚園・保育所・こども園・小学校間での交流と保育・授業の相互参観・情報交換をとおし、校種間の独自性と連続性を踏まえた学びのつなげ方について考えます。</p> <p>◆小学校教育への円滑な接続をめざし、子どもの発達や教育内容・指導方法について相互理解を図り、学びの連続性を見直しながら保育を実施します。</p> <p>◆幼稚園・保育所・こども園・小学校間での交流と保育・授業の相互参観・授業を行います。</p>	<p>◆幼保小関連研修において、情報交換を行うとともに、各学区の幼稚園・保育所・こども園・小学校において、相互参観や交流の場を設ける計画を立て、実施しました。(小学校)</p> <p>◆幼稚園・保育所・こども園・小学校間での交流と保育・授業の相互参観・情報交換をとおし、校種間の独自性と連続性を踏まえた学びのつなげ方について共通理解し、計画の立案をしました。(こども保育課)</p> <p>◆幼稚園・保育所・こども園から小学校への滑らかな接続について理論研修を行いました。(こども保育課)</p> <p>◆幼稚園・保育所・こども園・小学校間での交流と保育・授業の相互参観を行いました。(こども保育課)</p>	<p>◆参観や研修、交流を通して小学校生活の理解が進み、就学への接続が円滑になるような援助や支援のあり方について具体化されました。(幼・こ・保)</p> <p>◆交流や保育・授業の相互参観を通して、お互いに情報交換を密にすることで、発達段階への理解が深まり、子ども達への関わり方や学習指導に生かすことができました。(小学校)</p> <p>◆幼保小の交流を通して、幼稚園・保育所・こども園の子ども達が、小学校や小学生にあこがれや親しみの気持ちをもつようになり、就学前の不安を軽減して期待へとつなげることができました。(小学校)</p>	B	<p>◆幼稚園・保育所・こども園・小学校間での継続的な交流と保育・授業の相互参観・情報交換をとおし、校種間の独自性と連続性を踏まえた学びのつなげ方について考えます。(幼・こ・保)</p> <p>◆小学校教育への円滑な接続をめざし、子どもの発達や教育内容・指導方法について相互理解を図り、学びの連続性を見直しながら教育・保育を実施します。(幼・こ・保)</p> <p>◆幼稚園・保育所・こども園・小学校間での交流と保育・授業の相互参観・授業を行います。(幼・こ・保・小)</p>	幼稚園・保育所・こども園・小学校



# 109事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅰ

自律力

基本目標：子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
10 学校健康教育の推進 (幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・家庭等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体力・運動能力については、教科研修・研究会を充実させ、目標を持って向上を図っていきます。(小中学校)</li> <li>◆県平均を下回っている種目について、運動処方や体カトレーニングの周知や研修を深め、県平均を上回るように取り組んでいきます。(指導課)</li> <li>◆食育・学校安全などの健康教育について、養護教諭の研修や保健主事の研修等で指導していくことや学校訪問などの機会をとらえ、指導していきます。(学校教育課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成26年度体力・運動能力のまとめを校長会議で周知し、児童生徒の体力・運動能力の向上について依頼をするとともに、特に投げる力について留意していただけるよう依頼をしました。(小中学校・指導課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運動能力証合格率が小中学校とも減少しています。(指導課)</li> <li>◆中学生のハンドボール投げにおいて、3年生男子が全国平均を上回りました。1年男子、3年女子は、県平均を上回りました。(指導課)</li> <li>◆新体カテストにおいては、小中学校男女別合計点はすべてにおいて全国平均より上回っています。また、ABC判定の合計は、全体の80%を超えています。(指導課)</li> <li>◆各学校の日頃の運動への取り組み、体育の授業での取り組み、クラブ・部活動への参加により児童生徒の体力向上につながっています。(指導課)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体力、運動能力については、各学校の実態を確認し、体育の授業、部活動等での補助運動に取り組んでいきます。(指導課)</li> <li>◆教科研修、研究会を充実させて、指導力の向上を図ります。(指導課)</li> </ul>	指導課・小学校・中学校
11 青少年・家庭教育相談活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆26年度活用していただいた状況を保持していくとともに、相談の質の向上を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆電話相談、来所相談、青少年テレホン相談等の合計件数は昨年度の実績を保持しています。相談の質の向上のため、職員の研修の機会を充実させています。(総合教育センター)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆相談内容は多岐にわたりますが、個々の状況に応じて、対応することができました。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆相談の質の向上に努めるとともに、他機関と積極的に連携します。</li> </ul>	指導課・総合教育センター
12 「食育」の推進 (幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・家庭等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食生活アンケートを実施し、園児・児童の食生活の実態を把握し、家庭と連携した食育を実施していきます。(幼稚園・保育所・こども園)</li> <li>◆体験活動を中心に日常保育の中で食育を行い、園児・児童の食への興味関心を高めていきます。(幼稚園・保育所・こども園)</li> <li>◆毎年、小・中学校における朝食喫食率の向上を目指し実施してきましたが、依然として朝食をほとんど食べない児童生徒の割合に変化が見られないことから、平成27年度も引き続き、児童生徒個別の指導に重点をおき食育指導を進めていきます。また、朝食の用意が簡単に行えるよう保護者向けに「家庭で簡単にできる給食レシピ」を各学校毎に作成し配布することを目指します。(学校教育課)</li> <li>◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、学習プログラムの中に食育の内容を積極的に取り入れていきます。(公民館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今年度の食事調査において、各学校の朝食喫食率が下降傾向であったため、早寝・早起き・朝ごはん等の生活習慣の見直しについて、給食便りや授業の中で指導しました。(小・中学校)</li> <li>◆家庭でできる簡単レシピについては、給食便りに掲載しました。(小・中学校)</li> <li>◆幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、食育の講座を実施しました。(公民館)</li> <li>◆行事食づくり等の体験をとおし、日本の伝承行事について関心を高めました。(こども保育課)</li> <li>◆アンケートの結果を参考に各家庭に向けてたべものだよりや試食会をとおして食についての啓発活動を実施しました。(こども保育課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食に関する体験をとおして、子どもたちの食に関する興味や関心を高めるとともに感謝や食べ物を大切にすることを育てることができました。(こども保育課)</li> <li>◆各家庭で実践できるような食の大切さについて伝えることができました。(公民館)</li> <li>◆家庭でできる簡単レシピを配布することにより、保護者の朝食づくりに役立ちました。(学校教育課)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食生活アンケートの回収率をあげるため、保護者と子どもが興味をもてるような内容にします。また、家庭に向けたたべものだよりや献立表の内容について充実させます。(こども保育課)</li> <li>◆引き続き、幼児家庭教育学級・PTA家庭教育学級において、各家庭で実践できるような子どもの年齢に応じた「食の大切さ」を伝えるプログラムを取り入れます。(公民館)</li> <li>◆毎年、小・中学校における朝食喫食率の向上を目指し実施してきましたが、依然として朝食をほとんど食べない児童生徒の割合に変化が見られないことから、平成28年度も引き続き、児童生徒個別の指導に重点をおき食育指導を進めていきます。また、地域によって朝食喫食率に差があることから、喫食率の低い地域の学校の課題について検証しながら、喫食率の向上を目指します。(学校教育課)</li> </ul>	学校教育課・指導課・こども保育課・公民館 幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校
13 キャリア教育の推進(小学生・中学生・高校生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆研修会や学校訪問を充実し、キャリア教育と学校教育の連携を図り、特に、体験活動を充実させます。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆異校種間のキャリア教育の情報交換や連携を図るための手立てを考え、進めていきます。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆職場体験学習を充実させるためにも職場の確保や日程の調整を行い、推進していきます。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆高校3年間を見通した組織的・計画的な進路指導を実施し、生徒の進路に対する実践的な意識の向上を図ります。(習志野高等学校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校訪問・研修会を通してキャリア教育についての共通理解を図り、充実を図りました。(指導課)</li> <li>◆職場体験学習を通して、仕事に対する考え方、将来の自分を考えさせる手立てとしました。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆小中学校の職場体験学習が円滑に実施できるよう、関係諸機関へ依頼等を行いました。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆各学校にて進路学習会等を開催し、具体的な情報を学び、今後の進路に向けた筋道について研修しました。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校)</li> <li>◆会社訪問等を実施し、生徒自身の進路に対する実践的意識の向上を図りました。(習志野高等学校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆キャリア教育の重要性や体験学習の重要性を研修会や学校訪問の際に周知し、職場体験学習が充実したものになりました。(指導課)</li> <li>◆職場体験学習や会社訪問等を通して、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校)</li> <li>◆会社訪問や上級学校訪問により、生徒の就職や進路に対する具体的なイメージが高まりました。(習志野高校)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆研修会や学校訪問を通してキャリア教育についての共通理解を深め、その充実を図ります。(指導課)</li> <li>◆職場体験や会社訪問等を通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成に努めます。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校)</li> <li>◆進路学習会等を開催し、様々な職業や上級学校についての理解を深め、主体的に進路選択ができるよう、指導・援助を行います。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校)</li> <li>◆3年間の計画を見直し、適切な時期により多くの事業が展開できるよう工夫します。(習志野高校)</li> </ul>	指導課・小学校・中学校・習志野高等学校
14 福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆教育課程の全体を通して福祉教育を推進し、勤労意欲やボランティア意識を高め、子どもたちの心身の成長と自立させるための実践を小中学校で実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆福祉体験学習等を行い、ユニバーサルデザインについての学習を積極的に取り入れました。(指導課・小中学校)</li> <li>◆社会福祉協議会等と連携を図り、福祉教育を推進することで、地域の行事やボランティア活動に意欲的に参加しました。(指導課・小学校・中学校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆福祉体験や福祉施設との交流などを通して福祉に対する理解が深まり、子どもたちの心身の健全な成長と自立を支える支援につながりました。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆昨年度より七中学区において福祉教育推進地区のパッケージ指定を受け、2年目の本年は、地域と小・中・高等学校が連携した取り組みとして、「合同ミニ集会」を実施しました。(指導課・七中学区各校・津田沼高等学校)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆社会福祉協議会等と連携して、福祉教育やボランティア活動等の充実を図り、子どもたちの心身の成長と自立を目指していきます。(指導課・小学校・中学校)</li> </ul>	指導課・小学校・中学校

# 109事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅰ 自律力

基本目標：子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
15 環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事前に学校単位で、職員と担当教員の打合せを行い、時間配分、見学内容の見学行程表を作成し、ごみの減量、3Rの推進を図る学習になることを目指します。(クリーン推進課)</li> <li>◆解説用資料を拡充させます。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)</li> <li>◆事前打合せによるプログラムの充実を図ります。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)</li> <li>◆コンパクトな時間配分による、スムーズなプログラム運営を行います。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆来年度の施設見学に向けて、各校との見学日程の調整を行いました。また、見学内容等の見直しを検討しました。(クリーン推進課)</li> <li>◆市内16校の小学4年生の環境学習では、スライドを用いた説明を行い、スムーズなプログラム運営を実施しました。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)</li> <li>◆子供向けのイベントプログラムとして、Jr.レンジャー、たまごクラブ(親子での自然遊び等)、館内プログラム(工作・遊びコーナー等)を実施しました。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ごみの処理の流れ、ごみを減らす大切さとリサイクルの必要性を学んでもらいました。(クリーン推進課)</li> <li>◆児童は主体的に観察を楽しみ、干潟の生きものを発見していました。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)</li> <li>◆レクチャーで谷津干潟が守られた背景やラムサール条約について解説しました。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童一人一人に、ごみの減量、3Rの推進を理解してもらえることを目指し、事前に学校単位で、職員と担当教員との打合せを行い、各校の実情に合わせた時間配分及び見学内容で、見学を実施します。(クリーン推進課)</li> <li>◆さらなる解説用資料の拡充をします。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)</li> </ul>	クリーン推進課・谷津干潟自然観察センター・公園緑地課
16 鹿野山宿泊保育・学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆五感をとおした経験を重視した自然体験と宿泊保育に参加する中で、幼児間の交流の深まりと自立心を養う生活ができるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各学校で充実した宿泊学習が展開され、体験学習を通して心身の成長ができました。(指導課)</li> <li>◆市立幼稚園11園、こども園3園で鹿野山宿泊保育を実施しました。五感をとおした経験を重視した自然体験と宿泊保育を経験し、幼児間の交流の深まりと自立心を養いました。(こども保育課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆幼児一人一人の理解を図るとともに自然体験を通して自立心や探究心、自己肯定感を育むことができました。(こども保育課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆宿泊保育に参加する中で、五感を通した自然体験と、幼児間の交流の深まりと自立心を養う生活ができるようになります。(こども保育課)</li> <li>◆鹿野山セカンドスクールを小学4～6年生の3学年で実施、自然体験活動の充実を図ります。(指導課・小学校)</li> </ul>	こども保育課・指導課
17 青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆活動を通して、防犯についての重要性を考える機会を提供し、直接市民へ啓発の呼びかけをするなど体験型の活動により、自主・自立の防犯対策の更なる強化を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民まつりにおける啓発キャンペーンを実施しました。(防犯安全課)</li> <li>◆自転車防犯診断(京成津田沼駅、JR新習志野駅、京成大久保駅、京成実籾駅)を実施しました。(防犯安全課)</li> <li>◆市内7駅において街頭啓発キャンペーンを実施しました。(防犯安全課)</li> <li>◆実籾・東習志野地区の防犯マップを作製しました。(防犯安全課)</li> <li>◆歳末防犯キャンペーンを実施しました。(防犯安全課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自転車防犯診断を行ったことなどにより、市内で発生した自転車盗難の件数が昨年比39件減少しました。(H26 648件 H27 609件)(防犯安全課)</li> <li>◆各種啓発キャンペーンを実施したことにより、市内で発生した犯罪件数が昨年比102件減少しました。(H26 1928件 H27 1826件)(防犯安全課)</li> <li>◆防犯マップ作製を行ったことにより、児童・生徒の危険回避能力を養えました。(防犯安全課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種キャンペーンや自転車防犯診断により犯罪発生件数の減少を目指します。(防犯安全課)</li> <li>◆各種キャンペーン等により、市民などに詐欺の手口等を周知できるようにします。(防犯安全課)</li> </ul>	防犯安全課・指導課
18 子ども向け防犯教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活の中で安全な行動がとれ、危険認知や危険回避の意識が高まるように、計画的な訓練の実施と職員や関係機関との協力体制を強化します。(こども保育課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各学校において防犯訓練の計画を行っています。(学校教育課)</li> <li>◆幼稚園・保育所・こども園において、警察と連携を図り不審者対応訓練を実施いたしました。(こども保育課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆教師の話や放送などをよく聞こうとする態度が育った。また危険を回避するための行動がとれるようになりました。(こども保育課)</li> <li>◆不審者対応訓練を実施し、不審者侵入時における安全確保について理解する機会を設けました。(学校教育課)</li> <li>◆実際に不審者情報を各学校へ連絡し、注意喚起を行うことができました。(学校教育課)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆計画的な訓練を職員が関係機関と連携して実施します。その中で、子どもたち安全な行動がとれ、危険認知や危険回避の意識が高まるようにしていきます。(こども保育課)</li> <li>◆子どもたちが真剣に、より実感できる対応訓練などを行い、被害にあわないようにしていきます。(学校教育課)</li> </ul>	学校教育課・指導課・こども保育課
19 スポーツ教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆技術の習得だけでなく、協調性や人間形成を学べるような教室を実施していきます。</li> <li>◆子どもたちが自ら参加したいと思う場づくりを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆(公財)習志野市スポーツ振興協会へ補助金を交付し、子どもを対象にテニス・水泳等の多種目のスポーツ教室を実施しました。</li> <li>◆親子で参加できるスポーツ大会等を開催し、親子でふれあひながらスポーツを楽しむ機会を提供しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆初心者から参加できる各種スポーツ教室を開催し、スポーツを始めるきっかけ作りや仲間作り等のサポートを実施しました。また、子育て世代も参加できるよう、幼児の預りを行い、あらゆる世代を対象とした教室を展開し、更なるスポーツライフの充実を図りました。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆土曜日に定期的に実施しているキッズスポーツ教室は、子どもの体力づくりだけでなく、居場所づくりも目的としているため、さらに魅力ある事業にし、より多くの子どもたちに参加してもらえるようなスポーツ教室を実施します。</li> <li>◆親子対象の事業を行うことで、運動を通して親子間コミュニケーションの向上を図るとともに運動好きな子どもを育てる「環境づくり」の手助けとなるような指導を行います。</li> </ul>	生涯スポーツ課
20 男女共同参画を推進する意識づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆家庭、地域、職場、学校等社会のあらゆる場面において、男女共同参画の意識が浸透することを旨とし、講演会等の啓発活動を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆男女共同参画週間にあわせ、市民で構成されている男女共同参画週間事業運営委員会と協働で、21世紀の日本社会における若者世代並びに子育て世代を取り巻く厳しい雇用環境や家族を形成できないリスク等を踏まえ、男女共同参画の理念に基づく多様な働き方や役割等の必要性を訴えるため、7月11日(土)に講演会を開催しました。これにより、子どもを育てながら働ける地域社会に対する問題提起や父親自身が子供の目線に立ち、共感し合いながら親子で育ちあう実践報告をまじえ、男女ともに働きながら子育てを担い合う地域社会のあるべき姿を考えることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子育て世代をターゲットとしたとおり、参加者の年齢別割合としては30代の女性が多くありました。全体としては、講演会に参加した方から、大変有意義でよい講演だった等の御意見を多数いただくことができました。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆率先垂範の理念のもと、市が行う女性活躍推進の取り組みを発信します。</li> <li>◆市内事業所の経営者・管理職を主なターゲットとし、多様な人材が活躍するための働き方改革や、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの推進の重要性を啓発します。</li> </ul>	男女共同参画センター



# 109事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅰ

自律力

基本目標：子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
21 年代に応じた「いのち・性」の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆引き続き断続的に教育の機会を設けるとともに、関係機関との連携を深め、教育内容の充実を図る必要があります。(健康支援課)</li> <li>◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、子どもの年齢に応じた性教育や「いのち」に関するプログラムを積極的に取り入れていきます。(公民館)</li> <li>◆相手の気持ちに気づき、相手の立場に立って考えられる思いやりと優しい心を育む指導をしていきます。(幼稚園・こども園)</li> <li>◆発達段階に合わせた性教育の実施について、周知徹底を図るとともに、県の「性教育」に関する研修を全小学校・中学校が参加することで、最先端の情報を共有するように努めます。(指導課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小中学校ともに体育・保健体育の保健分野で性教育について扱っており、心の発達と併せて指導しています。(指導課)</li> <li>◆幼児家庭教育学級において、子育ての講座を実施しました。PTA家庭教育学級において、「いのち」や性教育に関する講座を実施しました。(公民館)</li> <li>◆各幼稚園・保育所・こども園で思いやりの心を育てることを目標に掲げ、職員が意識を持って取り組むよう共通理解を図りました。(こども保育課)</li> <li>◆子どもが生活や遊びを通して、様々な人と関わったり、相手の思いに気づけるよう援助しました。(こども保育課)</li> <li>◆友達と協力して遊びを進める中、自分の意見を表現したり、相手の思いを受け入れたりする経験ができるようになりました。(こども保育課)</li> <li>◆公立幼稚園との協働による「幼稚園健康教育」、公民館主催の「育児講座」、「幼児家庭教育学級」、「親と子のふれあい講座」、「PTA家庭教育学級」等の中で、乳幼児期の保護者に対して、子どもとの関わりや「いのち・性」についての内容を健康教育の中に取り入れ、実施しました。(健康支援課)</li> <li>◆4か月児・10か月児健康相談では、基本的信頼関係や子どもとの向き合い方について媒体を用いて伝えています。1歳6か月児・3歳児健康診断の会場にも「いのち・性」に関する絵本を提示し、親子で話ができるよう工夫しながら情報提供を行いました。(健康支援課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆講座・学級等では、50回述べ3,442人の乳幼児とその保護者に対して、ママ・パパになるための学級では妊婦とそのパートナーに対して36回760人、4か月児健康相談では133回1,417人、10か月児健康相談では110回1,374人の乳児の保護者へ教育を行い、多くの対象者へ命の大切さや性についての教育を行いました。(健康支援課)</li> <li>◆1歳6か月児・3歳児健康診断の会場に情報提供のために提示した「いのち・性」に関する絵本は、親子で見ている様子が多数みられました。(健康支援課)</li> <li>◆園や所で様々な人とのかわりを大事にしてきたことで、身近な人への親しみや思いやりの気持ちが育ってきました。(こども保育課)</li> <li>◆育児について不安や悩みを抱える保護者の参考としてもらうことができました。(公民館)</li> <li>◆各小中学校の保健等の授業への取り組みを通して、性教育、生命誕生等で命の大切さにふれることにより、子どもの心身の健全な成長と自立を支援することができました。(指導課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆引き続き断続的に教育の機会を設けるとともに、関係機関との連携を深め、教育内容の充実を図る必要があります。(健康支援課)</li> <li>◆遊びや生活を通して相手の気持ちに気づき、相手の立場に立って考えられる思いやりと優しい心を育む指導をしていきます。(こども保育課)</li> <li>◆引き続き、幼児家庭教育、PTA家庭教育学級において、各家庭に応じた性教育や「いのち」の大切さを伝えるプログラムを取り入れていきます。(公民館)</li> <li>◆発達段階に合わせた性教育の実施について、周知徹底を図るとともに、今後も小中学校の連携を図り、発達段階に応じた更なる教育の充実に努めていきます。(指導課)</li> </ul>	健康支援課・公民館・幼稚園・こども園・小学校・中学校・指導課
22 小中学校施設の整備	◆小中学校の体育館における非構造部材の耐震対策の完了を目指します。	◆市内全小中学校の体育館における非構造部材の耐震対策工事に向けた設計業務に取り組むとともに、非構造部材の耐震対策を実施しました。	◆小中学校の体育館における非構造部材の耐震対策が進みました。	B	◆平成27年度中に実施できなかった小学校における耐震対策を完了させます。	教育総務課
23 保育所補修整備の推進	◆藤崎保育所床張替工事を実施します。	◆藤崎保育所保育室床改修工事を実施しました。 ◆その他保育所施設の老朽箇所の修繕、改修工事を実施しました。	◆安全で安心に過ごせる保育環境の整備ができました。	A	◆大久保第二保育所及び菊田第二保育所の屋上防水改修工事を実施します。	こども政策課
24 駅、公共施設、道路等のバリアフリー化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆京成津田沼駅耐震対策事業を、京成電鉄株及び新京成電鉄株に着実に実施させ、駅利用者をはじめ、子どもを含めた市民の安全確保を図ります。(総合政策課)</li> <li>◆平成26年度事業として予定していたが繰越となっていた工事については、早期の工事完了を目指します。(道路課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆京成電鉄株及び新京成電鉄株が平成26年度及び27年度の2か年で実施する京成津田沼駅耐震対策事業に対して、事業費の6分の1を補助することで事業の推進を図り、27年度末をもって事業完了しました。(総合政策課)</li> <li>◆都市計画道路3・4・5号線及びJR津田沼駅自由通路の歩行面等の改修工事を実施しました。(道路課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆駅施設の耐震性が向上することにより、災害時における駅利用者や市民の安全確保の向上を図ることができました。(総合政策課)</li> <li>◆改修工事の実施により、歩行面の段差解消及び視覚障がい者用ブロック等を設置し、歩きやすい歩行空間が確保できました。(道路課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成27年度末をもって事業完了しました。(総合政策課)</li> <li>◆引き続き、都市計画道路3・4・5号線の歩行面の改修及び、JR津田沼駅北口駅前広場の歩道部のバリアフリー化を図ります。(道路課)</li> </ul>	総合政策課・道路課・都市計画課・各施設所管課
25 学校安全の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各学校の実態に即した、学校防災マニュアルの作成をし、活用していきます。(小・中学校)</li> <li>◆児童生徒の発達段階にあった、交通マナーを学ぶ交通安全教室を実施します。(小・中学校)</li> <li>◆多様な場面を想定したわかりやすい「危機管理マニュアル」や訓練計画の作成に努めます。(こども保育課)</li> <li>◆交通安全協会等と連携を図り、交通ルール等の交通安全に対する意識向上に努めます。(こども保育課)</li> <li>◆文書等を通じて、交通安全教育の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(学校教育課)</li> <li>◆学校警察連絡会、生徒指導主任会議及び生徒指導担当教員会議を通して、市内の状況を共有化し、関係機関と連携をとりながら、交通安全指導の共通理解を図り、未然防止に努めます。(指導課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆次年度より、学校防災マニュアルを基にした防災訓練を実施し、マニュアルの検証を行うよう、計画しました。(学校教育課)</li> <li>◆中学校においては、スクエアストレイト交通安全教室を実施し、自転車交通安全の意識を高めました。(学校教育課)</li> <li>◆今年度は、一部の学校でスクエアストレイトを行い、緊迫感をもった交通安全教室を実施しました。(小中学校)</li> <li>◆学校警察連絡会を3回、小中生徒指導主任会議を4回、生徒指導担当教員会議を11回行いました。その中で、小中学校及び関係機関との連携を図り、情報交換を行いました。(指導課)</li> <li>◆幼稚園・保育所・こども園において、危機管理マニュアルの見直しを図りました。(こども保育課)</li> <li>◆幼稚園・保育所・こども園において、交通安全協会、警察、道路交通課と連携し、交通安全指導計画を立案し、交通安全指導を実施いたしました。(こども保育課)</li> <li>◆こども部において、防犯・防災訓練の計画を立案、検討しました。(こども保育課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆計画的な交通安全指導により、自分の身を自分で守るという意識が向上しました。(こども保育課)</li> <li>◆学校防災マニュアルを基にした防災訓練を実施し、マニュアルの検証を行うことができました。(学校教育課)</li> <li>◆スクエアストレイト交通安全教室により、自転車交通安全の意識が高まりました。(学校教育課)</li> <li>◆各会議の中で中学校区ごとに情報交換をし、現状と今後の取り組みについて協議することで共通理解を図ることができました。(指導課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「危機管理マニュアル」の見直しや訓練計画の作成に努めます。(こども保育課)</li> <li>◆交通安全指導を充実させます。また、交通安全協会等と連携を図り、交通安全に対する親子の意識向上に努めます。(こども保育課)</li> <li>◆各学校の実態に即した、学校防災マニュアルの作成をし、活用していきます。(学校教育課)</li> <li>◆全中学校が体験済みになるようにしていきます。(学校教育課)</li> <li>◆学校警察連絡会、小中生徒指導主任会議及び生徒指導担当者会議等を通して市内の実態把握・状況の共有化を図りながら関係機関と連携し、交通安全指導を通して交通事故等の未然防止に努めます。(指導課)</li> </ul>	学校教育課・指導課・こども保育課

# 109事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅰ 自律力

基本目標：子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
26 子育て応援ステーション事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆授乳やおむつ交換の場を提供してくれる事業者を少しずつ増やしていくことで、子育て中の家族が安心して外出することのできる環境の更なる整備を図ります。</li> <li>◆地域で子育てがしやすい環境づくりのため、イベントや災害時に使用できるおむつ替えや授乳時に使用できるテントを整備します。</li> <li>◆千葉県が実施している「子育て応援！チーパス事業」について、県と連携しながら周知を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆イベントや災害時に安心しておむつ替えや授乳を行うためのテント等の整備を行いました。</li> <li>◆千葉県が実施している「子育て応援！チーパス事業」について、チーパスカードの有効期間が更新されたことから、その周知等に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆おむつ替えや授乳を行うためのテント等を整備することで、特に乳幼児を持つ子育て家庭が安心して外出及び災害時においても授乳ができるようになり、子育てに対する安心感につながりました。</li> <li>◆千葉県が実施している「子育て応援！チーパス事業」についてチーパスカードが更新になっていることから、その周知等に努め、子育て家庭の支援のほか、子育て支援の機運の醸成につながりました。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆整備したおむつ替えや授乳を行うためのテント等の貸出の周知を図り、貸出を促していきます。</li> <li>◆千葉県が実施している「子育て応援！チーパス事業」について、平成28年度4月1日より全国展開(一部の都道府県を除く。)を行うこととなったため「子育て支援バスポート事業全国共通展開参加自治体」の周知を図ります。</li> </ul>	子育て支援課
27 公園施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆安全で安心な公園の提供を目指し、職員による遊具の安全点検を実施するとともに、地域住民参加型の公園維持管理業務を実施し、危険箇所を見つけ次第、遊具の修繕を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆職員による日常パトロールを実施し、危険箇所を見つけ次第、修繕等を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆遊具の安全点検を実施した結果、老朽化等による遊具の危険箇所を見つけ次第修繕することによって、遊具による事故が発生せず、目標に沿った公園を提供することができました。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆安全で安心な公園の提供を目指し、職員による遊具の安全点検を実施するとともに、地域住民参加型の公園維持管理業務を実施し、危険箇所を見つけ次第、遊具の修繕を実施します。</li> </ul>	公園緑地課
28 地域住民参加型の公園維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域に密着した公園を目指していくために、少子高齢化が進む中、地域住民の更なる協力による清掃等の維持管理を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地元町会による公園清掃・点検の実施、花いっぱい花壇づくり事業に町会・小学生が参加し、地元住民の協力による公園の維持管理を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域住民に公園を管理してもらうことで、地域における公園の重要性を認識してもらうとともに、効率的な維持管理が可能となります。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域住民と協働したまちづくりを目指し、地域における公園の清掃等、維持管理を推進する。</li> </ul>	公園緑地課
29 応急手当普及啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆普通救命講習受講者数4,000人以上を実施することを目標にするとともに、子どもの命を守るよう、小児・乳児に対する心肺蘇生法の実施を積極的に取り組みます。また、小学校から大学、社会人と生涯教育として一貫した普通救命講習を実施します。</li> <li>◆救命処置法を忘れないように普通救命講習受講者に対し再講習を促し、新たに再講習用のコースを新設します。</li> <li>◆より普通救命講習を受講しやすくするため、講習3時間の内1時間分を自宅で受講できるe-ラーニングを新設します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小児・乳児に対する普通救命Ⅲを23回289人に実施し、成人に対する普通救命講習ⅠⅡ、上級を95回1,643人に実施しました。</li> <li>◆e-ラーニング講習においては12回56人、再講習は6回106人に対して実施しました。</li> <li>◆市内全ての小学校高学年を対象に、救命講習を実施しました。</li> <li>◆市内の中学校(8校)、高校(3校)、大学(1校)の生徒学生に、普通救命講習を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成27年度の普通救命講習は、4,761人が受講し目標を達成しました。</li> <li>・普通救命講習Ⅲ(23回、289人受講)</li> <li>・小児・乳幼児に対する短時間の救急講習(22回開催、273人受講)</li> <li>・小学校高学年を対象にした救命入門コース(16校、1,429人受講)</li> <li>・中学校(8校、1,614人受講)</li> <li>・高校(3校、1,003人受講)</li> <li>・大学(1校、50人受講)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆普通救命受講者数4,000人以上を実施することを目標にするとともに、子どもの命を守るよう、小児・乳児に対する心肺蘇生法の実施を積極的に取り組みます。また、小学校から大学、社会人と生涯教育として一貫した普通救命講習を実施します。</li> </ul>	警防課
30 公共交通施策の推進による外出利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆習志野市地域公共交通計画に基づき、東習志野・実籾地域バスの本格運行化の可能性について検証するとともに、地域の移動手段の確保に努めます。(総合政策課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実証運行を継続している東習志野・実籾地域バスを八千代市まで延伸し、公共交通空白不便地区を解消するとともに、外出利便性が向上しました。平成27年10月28日に開催された第9回習志野市地域公共交通会議において、実証運行の実績に基づき本格運行の是非について審議した結果、「平日のみの運行として運行経費の削減を図ること、運行ルート及び便数は現状から変更しないことを条件として本格運行に移行することが望ましい」との合意が得られたことをふまえ、平成28年1月から平日のみの運行の実施及び同年4月からの本格運行への移行を決定しました。(総合政策課)</li> <li>◆コミュニティバス(ハッピーバス)は、公共交通の空白地域の解消や市民の移動の利便性向上を目的に、バス事業者が事業主体となり運行しており、習志野市は運行収支の状況に応じて運行経費の一部を補助しています。(都市計画課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共交通事業者と連携し、外出利便性の向上及び地域の移動手段の確保を図ることができました。また、平成28年度からの本格運行への移行を達成することができました。(総合政策課)</li> <li>◆公共交通事業者と連携し、外出利便性の向上及び地域の移動手段の確保を図ることができました。(都市計画課)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆バス事業者とともに運賃収入等の増加に取組み、将来的な補助金の低減に努めます。(都市計画課)</li> </ul>	総合政策課・都市計画課
31 地域防災計画の見直しと各種防災対策の拡充及び強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆計画をもとに地域への防災教育や訓練を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆防災授業の支援(袖ヶ浦西小学校)を実施しました。</li> <li>◆起震車による地震体験の授業(谷津南小学校、大久保第二保育所)を実施しました。</li> <li>◆避難訓練支援(袖ヶ浦西小学校)を実施しました。</li> <li>◆幼児を持つ親向けの防災講話(菊田公民館)を実施しました。</li> <li>◆備蓄に関する講話(谷津南小学校)等、各種講話を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小学生に対する防災授業、消防講話等の支援や幼児を持つ親向けの防災講話等合わせて計17回を行った結果、防災対策の啓発につながりました。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆昨年度と同様に小学校に対する防災授業等の支援や幼児を持つ親向けの防災講話等の防災対策の拡充、強化を引き続き行います。</li> </ul>	危機管理課



# 109 事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅰ

自律力

基本目標：子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
32 自主防災組織の拡充及び強化	◆6組織以上の新規設立を目標とします。	◆新規設立の自主防災組織(10組織)に対し、活動を支援するため、防災資機材を交付しました。 ◆自主防災組織のリーダーを育成するため、習志野市自主防災組織リーダー研修会を開催しました。(2回) ◆申請のあった自主防災組織(184団体)に対し活動助成金を交付しました。	◆集合住宅等を中心に自主防災組織の趣旨説明や結成の働きかけを行った結果、平成27年度に10組織が新たに結成され、組織率の向上につながりました。	A	◆今後も継続して、集合住宅等を中心に自主防災組織の重要性の周知や結成の働きかけを行います。	危機管理課
33 子ども110番の家の推進	◆地域や関係諸機関と連携を図り、継続的に点検調査活動に取り組み、「子ども110番の家」の機能の充実を図ります。また、ナラシド♪という親しみやすく、わかりやすい市のキャラクターができたことから、ナラシド♪を加えたデザインにし、更新に合わせて取り替えていきます。 ◆子どもの安全を地域ぐるみで守るため、「子ども110番の家」を拡充し、児童・生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力としていきます。 ◆各小・中学校及び関係団体への「子ども110番の家」の設置協力依頼を積極的に行います。また、校長会議などの場で学校を通して「子ども110番の家」の意味と利用の仕方について知らせていきます。 ◆地域の研修会に積極的に参加し、より多くの方に地域の子どもは地域で守るという意識をもっていただくような啓発活動を行います。	◆市のキャラクターであるナラシド♪を加えた新しいデザインの看板に、順次、取り替えました。 ◆子どもの安全を地域ぐるみで守るため「子ども110番の家」の拡充に取り組み、21軒の新規協力者を得ました。 ◆地域や関係団体の会議に参加し、「子ども110番の家」の設置協力依頼を行いました。	◆市内で緊急回避7件、怪我17件、その他92件の利用がありました。	B	◆学校をとおして「子ども110番の家」の場所や逃げ込み方について児童・生徒への一層の周知を図ります。 ◆「子ども110番の家」加入者に利用状況を周知します。	青少年センター
34 学校・警察連絡制度の充実	◆児童・生徒の健全育成及び非行防止並びに時宜を得た犯罪被害予防のため、学校警察連絡協議会を年3回行い、学校と習志野警察が相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図ったり研修を行ったりします。 ◆有事に備え、常日頃から警察等関係機関との連携を密にしていこうにより、学校・警察連絡制度の一層の充実を図ります。	◆通学路安全対策協議会において習志野警察と合同で安全点検を行いました。 ◆市内小中高等学校長、教育長、教育委員会各部42名の出席をもって第1回目を開催し、児童・生徒の健全育成及び非行防止並びに犯罪被害予防のため、学校と警察が相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図りました。(青少年センター) ◆学校・警察連絡制度の一層の充実のため、常日頃から警察等関係機関との連携を密にしてきました。(青少年センター)	◆学校・教育委員会・警察間で、一定の情報が共有でき、連携した活動を行うことができました。(青少年センター) ◆警察、道路課、学校、保護者が合同で点検することにより、危険箇所を共通で理解することができました。(学校教育課)	B	◆児童・生徒の健全育成及び非行防止並びに時宜を得た犯罪被害予防のため、学校警察連絡協議会を年3回行い、学校と習志野警察が相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図ったり研修を行ったりします。(青少年センター) ◆有事に備え、常日頃から警察等関係機関との連携を密にしていこうにより、学校・警察連絡制度の一層の充実を図ります。(青少年センター) ◆児童虐待について各学校・園に一層の注意喚起を促し、虐待の早期発見に努めます。(青少年センター) ◆警察、道路課の意見を聞きながら、改善要望に少しでも応えられるよう、取り組んでいきます。(学校教育課)	青少年センター・学校教育課・指導課
35 ケータイ緊急情報サービスの拡大	◆ホームページや広報誌、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図ります。	◆ホームページや広報誌、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図りました。	◆災害情報等を緊急情報サービスならしので配信した結果、防災意識の啓発につながりました。	A	◆ホームページや広報誌、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図ります。	危機管理課
36 安全で安心なまちづくり基本計画等に基づく施策の実施	◆警察、市民等と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等充実させること。また防犯対策強化を図り犯罪抑止に努めます。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策について協議し、まちづくり出前講座等を活用し、市民の防犯意識の高揚を図ります。	◆警察、市民等との連携による、防犯パトロールや街頭啓発活動等を実施し、犯罪抑止に努めました。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策を協議し、まちづくり出前講座等の活用により、市民の防犯意識の高揚を図りました。 ◆防犯講演会等を実施する、安全で安心なまちづくり市民大会を開催し、市民の防犯意識の高揚及び地域防犯リーダーの育成を図りました。 ◆防犯パトロールカーを活用した、庁内通常、合同防犯パトロール、管理職による特別防犯パトロールを実施し、犯罪抑止に努めました。 ◆自主防犯活動団体へ腕章、ベスト、のぼり旗、帽子などの防犯物品貸与を行うほか、パトロールへの同行支援などを行いました。	◆評価指標でもある、犯罪件数が年々減少傾向にあります。 ◆警察、職員だけでなく、地域住民が自主的にパトロール等を実施するなど、市民の防犯意識が高まっています。	A	◆警察、市民等と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等を充実・拡充させることにより防犯対策強化を図り、犯罪抑止に努めます。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策を協議し、効果的な広報、啓発活動の実施により市民の防犯意識の高揚を図ります。	防犯安全課